

子ども読書支援センターニュース No.169

2018. 6. 30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817 <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成30年7月3日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：幼児

《6月のおはなし会で使った本》

『の一びたのびた』（紙芝居） 福田岩緒/脚本・絵 童心社 2006

『くるまかします』 鈴木まもる/作・絵 教育画劇 2011

『かえるのあまがさ』 与田準一/著 那須良輔/画 あい書房 1977

『ぴょーん』（大型絵本） まつおかたつひで/作・絵 ポプラ社 2004

★第2回新刊児童書閲覧会

○日時：平成30年7月31日（火）10：00～12：00 ○場所：山口県立山口図書館 第2研修室

○対象：公共図書館職員、学校図書館関係者、ボランティア等 ○定員：40名（要申込み・先着順）

○申込方法：平成30年7月27日（金）までに、電話、FAX、Eメールで申込み

★学校図書館セミナー

○日時：平成30年8月24日（金）〈午前の部〉9：30～12：00 〈午後の部〉13：30～16：00

※午前・午後で同じ内容を実施 ○場所：山口県教育会館 第一研修室（5F）

○講師：徳田悦子氏（東京学芸大学非常勤講師） ○内容：「テーマ決めできる、主体的な探究学習」

○対象：県内の教諭、司書教諭、学校司書、学校図書館担当事務職員、市町教育委員会指導主事、学校図書館ボランティア、公共図書館職員等 ○持参物：黒サインペン（細字） ○定員：各70名（要申込み・先着順）

○申込方法：平成30年8月10日（金）までに、電話、FAX、Eメールで申込み

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本-乳幼児から>

『まんまるだあれ』 いまもりみつひこ/文・切り絵 アリス館 2018.4 ¥1300

大きな赤いまるがひとつ。「まんまる まんまる まんまる だあれ」の問いかけでページをめくると、赤いまるに七つの白い模様や触覚や足が辺りわりテントウムシに変身。緑色や青色のまるも、ページをめくると目やシッポが辺りわって、カエルやカメなどの身近な生きものに変身。リズムカルな言葉と、シンプルで美しい切り絵が魅力的。自然写真家として有名な著者による赤ちゃん絵本。

『いたいいたいのとんでけ〜』 谷口國博/文 高砂淳二/写真 山崎彬/英文 世界文化社 2018.5 ¥1200

「いたいいたいのとんでけ〜」「もういっしょ？まあだよ」「あっかんべえ」など、誰もが口にしたことのある子ども言葉にあわせて、アザラシ、ラッコ、ペンギン、イルカなどの愛らしい姿と表情の写真が満載。ページをめくるたびに動物たちの様子が楽しめる。読み聞かせにも向く赤ちゃん向け写真絵本。子ども言葉の英文併記。

<絵本-3, 4歳から>

『あむ』 小風さち/作 山口マオ/絵 福音館書店 2018.4 ¥900

黒犬のあむは、飼い主のかっちゃんが好き。ある日、海へ遊びに行っただけのかっちゃんを追いかけ、あむはひとりで海に行くことに。危険な踏み切りや、道端に落ちた食べ物の誘惑がある中、あむは無事に海へ辿り着くことができるのか…？飼い主を思う犬の世界を、いきいきと描いた絵本。表情豊かなあむが魅力的。「こどものとも」2011年7月号のハードカバー化。

<絵本-5, 6歳から>

『もりのほうせき ねんきん』 新井文彦/写真・文 ポプラ社 2018.5 ¥1500

ねんきん（粘菌）は、アメーバと菌類の中間的な生き方をしている単細胞生物。一生のうちで形が変わるので、変形菌の別名を持つ。ぬるぬるねんきんのからだでアメーバのように動き、胞子を作るために、子実体に変身。森で生きる宝石のように美しい粘菌に魅せられた写真家が、粘菌の姿とその生態をわかりやすく紹介。見返しに解説あり。「ふしぎいっぱい写真絵本」シリーズの1冊。

『黄金りゅうと天女』 代田昇/文 赤羽末吉/絵 BL出版 2018.3 ¥1400

慶留間（げるま）の島に可愛（かみな）という女の子がいた。島の人々から可愛がられていたが、7歳の誕生日に突然、黄金竜に飛び乗り消えてしまう。何年か経ったある日、海賊が島で暴れていると、天女が乗った黄金竜が現れて…。見開きいっぱいの赤色と金色で描かれた暴れ狂う竜の姿は迫力満点。海賊への怒りが絵から伝わるよう。沖縄の昔話。1974年銀河社発行の再刊。

『アヤンダ おおきくなりたくなかったおんなのこ』 ヴェロニク・タジヨ/文 ベルトラン・デュボワ/絵 村田はるせ/訳 風濤社 2018.4 ¥1500

戦争で父を亡くした、小さな女の子アヤンダ。その悲しみは怒りに変わり、「戦争をするから大人になりたくない」と、アヤンダは大きくなることを長い間拒んでいた。でもある日、村に銃を持った強盗たちがやって来た時、村を救うために、アヤンダはバオバ

ブの木のように大きくなり、強盗を追い出す。コートジボワールの高名な女性作家によるアフリカの絵本。強烈な色彩の絵も印象的。

<絵本—小学校低学年から>

『フランクリンの空とぶ本やさん』 ジェン・キャンベル/ぶん ケイティ・ハーネット/え 横山和江/やく BL 出版 2018.2 ¥1600

ドラゴンのフランクリンは本を読むのが大好き。誰かに本を読んであげるとも好き。だからホテルやコウモリたちに本を読んであげて、仲良く暮らしていた。町の人たちにも本を読んであげたいけれど、みんなドラゴンを怖がって逃げてしまう。ある日、フランクリンはルナという本好きな女の子に出会い…。本を通じて友だちができ、世界が広がることを教えてくれる楽しい絵本。

<絵本—小学校中学年から>

『せかいでさいしょのポテトチップス』 アン・ルノー/文 フェリシタ・サラ/絵 千葉茂樹/訳 BL 出版 2018.5 ¥1500

料理自慢のジョージ・クラムのレストランは、たくさんのお客さんで大繁盛。ある日、ひとりの紳士が店にきて、ポテトを注文した。クラムはプライド・ポテトを出すのが、「ぶあつすぎる」「なまにえだ」「味がうすい」と、三度も皿をつき返された。いたずら好きなクラムが作ったのは…。ニューヨーク州サラトガ・スプリングスで本当にあった、ポテトチップス誕生の絵本。

<読み物—小学校低学年から>

『ノラネコぐんだんと海の果ての怪物』 工藤ノリコ/著 白泉社 2018.5 ¥1100

ある朝、海辺で虹色に光る貝がらを見つけた8匹のノラネコぐんだん。その貝がらに海水を入れて一口飲むと、海の中を自由に歩き回ることができ、魚は獲り放題。調子に乗りすぎて、魚を粗末に扱ったことで、海の国の王様にしかられ、償いにあるミッションを言い渡される…。『絵本』から『読み物』への橋渡しとして書かれた、人気の「ノラネコぐんだん」シリーズ初の物語。

<読み物—小学校中学年から>

『かみさまにあいたい』 当原珠樹/作 酒井以/絵 ポプラ社 2018.4 ¥1200

柔道の試合に応援に来ると言ったおばあちゃんに、試合はないと嘘をついてデイサービスに行かせてしまった小3の雄一。だって認知症のおばあちゃんなんかに来られたら、恥ずかしいから。嘘をついたまま、おばあちゃんとの永遠の別れを迎えてしまった雄一は、同級生の竜也と一緒に「神様」との交信を試みることに…。心の傷を抱えた少年たちのひみつの友情と成長の物語。

<読み物—小学校高学年から>

『ペーパープレーン』 スティーブ・ワーランド/作 井上里/訳 小峰書店 2017.12 ¥1400

授業で紙飛行機のおもしろさを知ったオーストラリアの12歳のディラン。90秒で紙飛行機を折り、飛ばして飛距離を競う「紙飛行機ジュニア選手権」に出場することに。妻を亡くして落ち込むお父さんを励ましたり、対立したりしながら、より遠くへ飛ばす紙飛行機の折り方を研究し、遂には東京である世界大会へ。大ヒットしたオーストラリア映画のシナリオのリライト作品。

<読み物—中学生から>

『疾風的女子マネ!』 まはら三桃(みと)/著 小学館 2018.6 ¥1400

“いい男狙い”で陸上部マネージャーを志望した女子高生、咲良。DSで有能な先輩マネージャーに鍛えられながら、リレーの魅力に取り付かれた咲良は、チームを勝利に導くべく張り切るが…。中学時代の強豪バレー部での苦い経験乗り越え、個性的な5人の選手とともに成長する咲良の姿を描いた青春物語。選手の巻き起こす風とマネージャー咲良の熱い思いが伝わってくる。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『くらべよう!どうぶつの赤ちゃん』(全7巻) 小宮輝之/監修 小峰書店 2018.4 各¥2200

ライオン、シマウマ、ゾウなどの野生の動物や、イヌやネコ、ハムスターといった身近なペット動物の、生まれたばかりの赤ちゃんの頃や、大きくなっていく様子を、写真やイラストとともに紹介。全7巻で、56種類の動物の赤ちゃんを掲載。すべての赤ちゃんを同じ項目でくらべることで、その動物の特徴がひと目でわかるよう工夫されている。小1国語科で活用できる。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『石井桃子 子どもたちに本を読む喜びを』 竹内美紀/文 あかね書房 2018.4 ¥1500

『クマのプーさん』や『ピーターラビットのおはなし』を翻訳して、日本の子どもたちに紹介した石井桃子。翻訳家として、作家として、編集者として、いつも本に向き合い、日本の子どもに大きな足跡を残した石井の、101年にわたる生涯を綴った伝記。巻末の、人生に影響を与えた人々の紹介や、写真資料、年表は、本文を理解するのに役立つ。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『ポプラディアプラス仕事・職業』(全3巻) ポプラ社 2018.4 全3巻セット¥24000

『総合百科事典ポプラディア』の姉妹編『ポプラディアプラス』シリーズ。1、2巻の「職業区鑑上・下」では、655の職業を30のジャンルに分けて紹介。職業の仕事内容や進路、働く人へのインタビューを収録。3巻の「学習資料集・索引」では、職場体験の実例や、仕事・職業の基礎知識などの情報と、「ジャンル別」「興味関心別」「五十音順」の索引を掲載。

<ノンフィクション—中学生から>

『司書のお仕事 お探しの本は何ですか?』 大橋崇行/著 勉誠出版 2018.4 ¥1800

新人司書、双葉を待っていたのは、蔵書目録の作成や選書、学校図書館との連携など、次々に押し寄せてくる司書の仕事。先輩司書の助言を受けながら司書として成長していく双葉の姿を描きながら、見えない部分の司書の仕事を具体的に紹介する「ライブラリーぶっくす」初の小説。ストーリーの合間のコラムや用語解説、写真が理解を深める。大学の先生と現役司書によるコラボ企画。

<研究書>

『保育をゆたかに絵本でコミュニケーション』 村中季衣/著 かもがわ出版 2018.5 ¥2000

絵本を読む人と聞く人の心の響きあいを大切にしたい「読みあい」を提唱する著者が、子どもの反応や大学生の学びの様子を踏まえ、自分の声で絵本を読むことの意味、絵本の読み方などをレクチャーする。山口市内の保育園での選書会、山口市秋穂地区での実践など、県内の実践者による実例も掲載。保育の現場に役立つQ&A、年齢別・テーマ別のブックガイド付き。